

「出合う」ということ

保護者個別懇談会には、ご多忙な中にもかかわらずいただきまして、誠に有難うございました。

ご家庭の様子やお家での様子や、まのの様子をお聞きすることができ、お子たちひとりひとりに、真に愛おしい方が増して参りました。

みなくとも一日ひとつ、良いところや成長の喜び、ほめてあげたいところを心を込めて伝えてあげれば、一年ごころの進級し、入題し、新しい担任との「出合」いことも、はかばか論、ご家族みなさまに喜んでいただけるように、そくいっしょ育を続けたいと思つ、保護者個別懇談会になりました。

本当にありがとうございました。

ご存知のように七月七日は七夕です。七夕の起源は、織姫のようにつ先が露の中になりたいと願う中国の儀式でした。これが奈良時代、日本に伝わり、地域の間行事などを取り入れるが、

現在の短冊に願いを書いて笹に飾るようになったと伝えられています。今年も子どもたちがお家の方と一緒に短冊に記してくれた、願いを大切にしてください。やがて未来へ向けて大きな夢を描けるように、今は一日一日を幸せ感じ、はに過ごせるようにしてあげなければなりませんと思つていきます。

七夕の夜、織姫と彦星は一年ぶりの出合いと叶えます。

「出合」とは単なる遭遇とは違つて、お互いに良い影響を与え合ふものさうか。つまり、「出合う」とは、お互いを元気づけ、自信を持つこと、生き生きと生きる力になるのだと信じています。

子どもたちにはこれがかつても、良き大人な、いい仲間たちと「出合」とい、影響を与えあつて欲しい。

これが七夕にかける松の英の願いです。

ところで、松の英文庫をどう活用したか、いいますか。

い豊かに育つ優れた力に満ちた絵本

に出合ふ欲しい。これが松の英文庫の始まりでした。

「絵本を読んでもうかう、その時間は子どもにとって文字通り丸ごとの愛を感じることが出来るかけがえのない時間です。

心の奥に響く愛を十分に受け育つた子は、自分を愛し、自分と同じように、に他の人を愛し、尊重することが出来ます。ご家庭で今までの出合われた優れた絵本をもっとと広めたいと願っています。どうかぜひとも松の英文庫へご紹介くださいましたら幸いです。

人と出合ふ、美しい自然に出合ふ、やさしいひびきと心奪つぐ言葉や音楽に出合ふ、想像力や思考力を高める優れた絵本にも出合う。

絵と信頼は、「出合」との豊かさと共に育まれて行くのです。

こどもの未来に向けて、良き「出合」が続きまふようにと祈りたい美しい屋敷の七月を迎えます。

園長 福田孝子